

天台佛青連



発行元 / 天台仏教青年連盟
 編集 / 布教広報委員会
 発行所 / 〒224-0033 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東 3-12-1 正覺寺内
 印刷所 / 〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社
 郵便振替 / 天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字 / 第258世天台座主
 大樹 孝啓 猊下

令和6年
 2月29日
 発行

index

代表 挨拶	1
天台宗宗務総長 御挨拶	2
延暦寺執行 御挨拶	2
天台仏教青年連盟全国大会信越結集	3
天台宗海外開教50周年慶讃行事	4
西日本野球大会 (WBC) を終えて	5
法華大会廣學豎義番論義に参加して	5
《特集》	
比叡山宗教サミット	
第1回連盟オンライン研修会開催	6~7
連盟オンライン研修会レポート	
第2回連盟オンライン研修会	8
第2回連盟オンライン研修会に参加して	8
第58回天台青少年比叡山の集い	9
インフォメーション	9
協賛金協力者御芳名	10~11
常任委員会委員長報告	12

公式ホームページ

(新HP) <https://www.tendai-bussei.com/>
 (旧HP) <https://www.t-y-b-a.com/>

天台仏教青年連盟

検索



連盟では公式ホームページや各SNSの運営を行なっています。ホームページでは、連盟主催行事や過去の記事、毎年発行される会報誌『天台佛青連』の最新号やバックナンバーを閲覧いただけます。また、SNSではFacebook・instagramに加え、LINE公式アカウントでの情報発信も始めましたので、併せてご利用ください。



情報通信委員会

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。先ずは一月一日に起こりました能登半島地震にて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をご祈念申し上げます。平素より一宗をはじめ延暦寺一山および全国の天台宗寺院、並びに各教区仏青会員の皆様には、

出会い・啓発・実践

天台仏教青年連盟

代表 杉谷 義恭 (東京)



私ども仏教青年連盟の活動に對しまして格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和五年四月に角本前代表より引き継ぎスタートした新体制も、お陰様で一年を迎えようとしております。

本年度は、連盟全国大会信越結集を四年ぶりの一泊二日で開催し、一六〇名以上の会員が参加してくれました。みんなが集う大切さを改めて認識しました。次にオンライン研修会です。コロナ禍ではじめた事業ですが、会場に向くのが難しい、気軽に受けたい、いろんな講師のお話が聞きたいなどの会員の声を聞き、より一層、内容を充実にして幅広い分野の研修会をオンラインで実施しております。また、昨年は天台宗海外開教・ハワイ別院開創五十周年記念法要ならび

に第三住職田中祥順大僧正晋山奉告法要に出仕させていただきました。この上ない経験をさせていただきました。普段、日本国内寺院のことしか考えを巡らすことがないですが、海外開教の重さを実際に現地に赴くことで、現地の想いを肌で感じ、先達たちから歴史を伺い、海外布教の可能性を知ることができました。参加いただいた会員の皆様には無理なお願ひもあつたかと思いますが、ご協力ありがとうございました。

収束していたコロナウイルスが徐々に広がりを見せる中で、季節性インフルエンザの流行があり、まだまだ健康面については油断できない中で、世界では、紛争の終わりが見えない、一歩先が不透明な時代へ突入しています。そのような環境の中で、我々

青年僧は何をすべきかをしっかりと考えて行かなければならないと強く感じています。連盟も五十年という節目を迎えました。こんな時代だからこそ、我々ももう一度原点に立ち返って、設立宣言文の精神を忘れず、会員相互の協力のもと、切磋琢磨し、実践していく事が重要であると思ひます。

今後とも連盟の更なる発展のため精進して参りますので、変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和六年能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げます。



御挨拶

天台宗宗務総長
阿部 昌宏

天台仏教青年連盟会員の皆様におかれましては、お健やかに令和六年甲辰の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。辰年には活力が旺盛となり、大きく成長して形が整う年と言われます。天高く昇る龍のように勢いのある年になりますよう、次代を担う仏青諸君の活躍を期待しております。

仏青連盟におかれましては、昨年四月に役員が交代され、杉谷義恭新代表を中心に、新旧役員と会員の皆様が日々社会浄化にご尽力されておりますこと、深く感謝申し上げます。

年頭の一月一日に発生しました能登半島地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。今後は、天台宗災害対策本部と仏青連盟救援委員会が連携をして、被災地の声に耳を傾けながら支援活動に取り組んでまいります。

さて、平成二十四年に始まりました祖師先徳鑽仰大法会は、昨年令和五年三月をもって魔事無く円成いたしました結願を迎えました。大法会期間中、仏青連盟の皆

様には報恩法要の奉修や総結願法要へのご出仕など、数々の大法会事業に多大なるご協力をいただきましたこと、ここに篤く御礼申し上げます。

そして、大法会期間中には「伝教大師の魅力に親しく触れ、その感動を人々に伝える交流を通じて、日本文化の歴史や寺社仏閣などへの関心を喚起し、新たなファンづくりの取り組みを行うために、多角的で幅の広い視点で情報を発信する」ことを目的として「伝教大師最澄一千二百年魅力交流委員会」が設立されました。比叡山にゆかりのある様々な分野の方々が宗教や教義の視点にとらわれることなく集い、産・官・学の枠組みを超えた賛同者に加え、現役大学生も参画し、時代に即した情報を発信しております。仏青連盟も是非ともこの輪の中に入っていただき、全国各地で伝教大師の魅力に触れる取り組みを進めていただきます。たく存じます。

仏青連盟の会員の皆様には「本末一如」「愛山護法」のお心持ちにて、より一層のご活躍をご祈念申し上げます。



御挨拶

延暦寺執行
水尾 寂芳

新年令和六年甲辰の歳を迎えました。本年が、天台仏教青年連盟の皆さまの、より一層のご活躍の年であり、また心からお祈りし、また併せて、平素よりの皆さまからの本山護持へのご高配、ご芳情に対して厚く御礼申し上げます。本年もどうか宜しくお願ひ申し上げます。

元旦の夕刻を襲った能登半島地震によって多くの方が亡くなり、寒さと不安の中、困難な生活を強いられている被災者の方々に心からお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、十一年間取り組んできました祖師先徳鑽仰大法会の総結願を昨年三月十六日、総本山の三塔大堂に於て宗団を上げての法要を天台宗布教師会、宗議会と共に仏教青年連盟の皆さまには三塔の中、横川中堂を道場に厳修いただきました。振り返りますと大法会の期間中、連盟の皆さまの組織力、実行力による成果が顕著でした。期間が

長いだけに、担当の役員の方が次々代わりながら、そしてコロナ禍の困難の中でも、それぞれに実績を残されてきたことに御礼と敬意を表します。

これからもアフターコロナの様々な課題や試練が巡ってくるものと思えます。共に果敢に取り組んでいただきたいと思います。今後、目を向けると、根本中堂の工事完成予定は令和九年十二月、そして令和十年から十二年が宗祖のご出家お得度一千二百五十年の年にあたります。それぞれの節目の時に合わせて、目標を掲げていきたいと思います。

仏教青年という期間は、それぞれに限られた一定の期間であり、経験した者は皆感慨と思いを以て振り返り、今の後輩たちの活躍に注目し頼もしく応援していることと思えます。

最後に皆さまの二利兼済の活動に益々のご精進とご活躍あらんことをお祈り申し上げます。

信越結集

信越結集を終えて

信越仏青 事務局長 和田隆嗣

この度、令和五年度の天台仏教青年連盟主催の全国大会を信越教区で開催させていただきました。

また多くの会員様に参加いただきまして改めて御礼申し上げます。コロナという前代未聞の流行り病が日本に収まらず、世界に流行してから、この数年間は本来の全国大会の姿で開催が出来ませんでした。それでも本山仏青様、東海仏青様のご尽力



のもと結集の火を絶やすことなく、繋いでいただきました。

信越教区では、数年前から準備を始めたものの、初めての開催ということもあり、クリアするべき問題点や、その為の提案事項など、OB会員の皆様のお知恵を借りながら、多くの時間を会議に費やしてきました。今回のテーマである「令和(イマ)求められる佛の教えのススメ方」では、みうらじゅん先生を講師にお招きし、現代における仏教や神社仏閣の表現方法のヒントを教えてください。また二日目の「世界平和祈念法要・講演」では善光寺大勧進にて栢木寛照大僧正様を御導師にご登壇いただきました。世界各地で起きている紛争に対して我々は宗教者として、折り続けることが今やるべきことなのだとお伝えいただきました。



そして、懇親会で他仏青の皆様が久々の再会を祝うように、各所に盛り上がる様子を拝見し、大変微笑ましかったです。

他教区の仏青様も活動が制限されるように、会員数の減少が続いていくことが難しくなっています。現代の会員の求める活動というの、普通りの慣例で行ったら良いという話ではなくなってきたら良いと思います。運営をしていく各仏青様の悩みは尽きない中、天台らしさをもった行事にイベントの継続は

是非行つてほしいと願うばかりです。この度の結集のように、他教区の会員の皆様との、これからの未来のある会話と交流こそが、教区を超えて新しい発展に繋がっていくと思います。

これからの天台仏青各教区様の益々の御健勝と御活躍を祈念し、御挨拶とさせていただきます。この度は沢山のご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。



信越結集に参加して

九州東仏青 代議員 竹中隆彰

令和五年天台仏教青年連盟全国大会「信越結集」に参加させていただきました。当仏教青年会から七名の参加。九州から離れており、私も含めて初めて長野県に来た会員も多かった。少しずつコロナ禍も落ち着いてきており、本年度の結集は人数制限なしの開催だった。皆で集えること、学べることに感謝した。

初日の午後からは、みうらじゅん先生の講演を拝聴した。先生の豊富なご経験をもとに様々な視点や切り口でお話をいただいた。なかでも六郷満山から来た身にとって神仏習合の話は最も興味深いものだった。二日目は善光寺での朝事に始まり、午前中には大勧進に於いて世界平和祈念法要に参加。ウクライナ戦争に加えイスラエルにおける戦争等、早期の収束を願うとともに、犠牲になった方々に哀悼の意を捧げた。続いて栢木寛照貫主より永年に渡り平和貢献活動を実践してこられたご経験から貴重なお話をいただいた。

最後になりますが、よき出会い、よき学びの機会を与えてくださった関口会長をはじめとした信越仏青の皆様方、連盟役員の皆様方に対し、こころから感謝申し上げます。

天台宗海外開教五十周年慶讃行事

天台宗ハワイ別院の未来の為に若い力を

ハワイ別院 第三代住職 田中 祥順

天台宗ハワイ別院は、一九七三年に開創され、二〇二三年十一月二十五日に天台宗海外開教並びにハワイ別院開創五十周年記念法要式典、晋山式、荒了寛記念館開館式、荒夫妻顕彰碑除幕式を開催いたしました。仏青連盟の皆様には、ご出仕していただき、又お手伝いをいただき、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

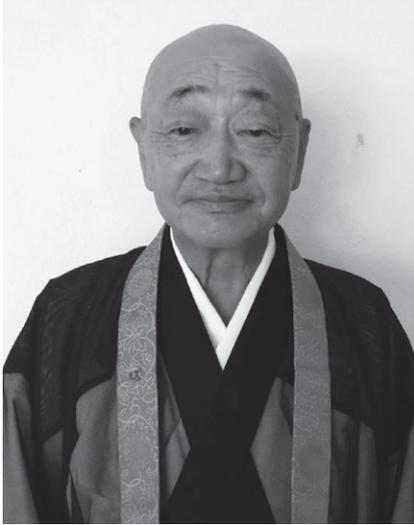
さて、ハワイ州の人口は百三十六万人(二〇一〇年)でその中、日系人は二十三%と言われる

ています。ですから、日本の各宗派の寺院が数多くあり、移民と共に作られ、一四〇〜一五〇年の歴史があります。

また、日系三世の多くは、日本語が話せないのが現状であります。やはりハワイは英語圏です。英語が話せて、英語で布教しなければなりません。

是非、若い青年僧の方にハワイ別院へ来ていただき、グローバルな心を持って、天台宗宗祖伝教大師のご精神を、ハワイを拠点として世界へ広めていただきたいと思いを

期待すると共に、今後の天台宗ハワイ別院の更なる発展の為に、ご協力をよろしく願います。



『天台宗海外開教五十周年慶讃行事』に参加して

東海仏青 櫻井 圓晋

令和五年十一月二十五日、天台宗ハワイ別院において、天台宗海外開教五十周年慶讃行事が執り行われ、当連盟より十名が出仕僧として参加させていただきました。常夏ハワイの強い日差しの下、現地では法要の前日から企画主催である海外伝道事業団の方々と協力をして、当日に向けた準備や道場の荘厳等を行いました。

する近年において、我々僧侶には、人種や国境を越えた布教活動を行い、国際的な総合理解を築く役割があることを改めて自覚させられる貴重な機会となりました。今回、このような機会に携わらせていただいたことに感謝の念を込め、ご報告申し上げます。

当日の法要は、大導師に天台座主代理妙法院門跡杉谷義純大僧正を迎えて厳修され、堂内には群馬教区の雅楽団による優美な音色が響く中、これまでハワイでの開教に携わった方々の功績を讃えつつ、今後の別院での布教活動に対する期待に満ちた空気に包まれながら無事に幕を閉じました。



誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代) FAX 0120-34-2996

天台宗専門法衣司

山科大西法衣店

〒607-8357
京都市山科区西野樋川町45-21

電話 (075) 591-9159
FAX (075) 502-5418
0120-568-024

社寺建築設計施工

株式会社 **大幸社寺工務店**



埼玉営業所 埼玉朝川口市東本郷1-9-4
電話 048-452-4062 FAX 048-452-4063
本社 東京都足立区勝2-22-4
電話 03-3896-3531 FAX 03-5647-8077

「西日本野球大会(WBC)を終えて」

兵庫仏青会長 岩谷 宗圓

去る十月三十一日、十一月一日において兵庫教区の野球チームである『ボンサンズ』と『兵庫天台仏教青年会』の主催で、西日本野球大会(West Japan Baseball Classic: WBC)を淡路島の佐野運動公園で開催いたしました。天台宗の野球大会としては東日本野球大会が歴史ある大会として行われておられます。いつもゲストとして参加する立場でありました兵庫チームとして、主催の立場をチャレンジしたいという思いと、コロナ禍により途絶えがちとなっていた全国的な懇親の場を復活させようという思いから始まりまし



前日、神戸三宮にて懇親会を行いました後、十一月一日大会



当日は晴天にも恵まれ、丸一日野球を楽しむことができました。懇親会も含め全国の仏青からは、信越、栃木、南総、北総、四国、岡山から幅広くお集まりいただき、また、他宗や宗務庁からもチームで参加いただき、スタッフ合わせ総勢九十名規模での大会となりました。栄冠は宗務庁チームである『一隅テラス』に輝きました。勝敗もさることながら、皆様の笑顔を見て開催してよかったとスタッフ一同安堵いたしました。この場をお借りいたしました方、また大会にご参加いただいた方、また様々な形でご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

合掌

法華大会廣學豎義番論義に参加して

群馬仏青 三浦 興寛

本年十月に行われた法華大会番論義に法嗣二名が参加させていただきましたこと、有難うございます。

昨年、延暦寺一山諸大徳との御縁で番論義に参加させていただくこととなり、法嗣以上に緊張いたしました。法嗣が大役を勤められるのかと不安が募ったことが多々ありました。

座主猊下に御戒師いただきました十論匠得度から始まり、習



礼のため、群馬から比叡山を往復したことが、今となれば良い思い出となりました。

法嗣たちも習礼を重ね、自然と寺に興味を持ち始め、経本・食事作法を手取るようになり、本堂で番論義のパートを唱えることが多くなり、自信に繋がったようです。

習礼で一山の法嗣同志と仲良くなり、法華大会期間中も兄弟のように生活することができました。

諸大徳の御縁で法華大会番論義に参加させていただきましたこと、法嗣と子ども、感謝しかございません。有難うございました。

神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷
ふくさ・進物品・お誂え全般 卸

有限会社 ヤマゼン

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町3-1-15
ユー・アイビルディング6F
TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552

沈香 白檀 各種焼香 本舗
法要・行事等 記念品「香」受け賜ります
総本山 延暦寺御用達

風間薫芳堂

〒607-8454
京都市山科区厨子奥苗代元町21-8
電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760

文化財修復・社寺建築

木澤工務店

本社 〒606-8414
京都市左京区浄土寺真如町111番地-1
TEL (075) 751-0628 FAX (075) 752-9430
〒529-1314
営業所
工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地
TEL (0749) 42-2859 FAX (0749) 42-5727

教サミット



青年僧の心に世界平和の祈りを刻む

布教広報委員会 担当役員

高橋 文英

毎年八月四日には比叡山上において「世界平和祈りの集い」が開催されます。

昭和六十二年に比叡山宗教サミットが初めて開催され、令和五年で三十六周年を迎えました。

八月というと仏青会員にとつては「天台青少年比叡山の集い」がまず頭に浮かぶと思います。この二つの行事は本年より別日程となりましたが、以前は「天台青少年比叡山の集い」の日程中に「世界平和祈りの集い」に参加していましたので、仏青会員にも馴染みのある式典ではないでしょうか。

しかしながら、「世界平和祈りの集い」の歴史や意義について詳細を知る会員が少ない現状を鑑みまして、天台仏教青年連盟では「比叡山宗教サミット」に焦点を当て、「比叡山メッセージ」の精神を継承し、青年僧にしかできない行動に移す「きっかけ作りを目的とし、座学研修と実地体験を企画いたしました。

研修に参加した会員、「比叡山宗教サミット」に参加した会員からの報告をここに掲載いたします。

比叡山宗教サミットに参加して



四国仏青

会長 熊澤 芳心

晴天、入道雲の下、ずらりと並んだ麦わら帽子がとても印象に残っている。

八月四日坂本、車内から見かけた温度計は三十四度を示していた。どこも暑いものだと思つていたら東塔は二十六度だった。決して快適な気温ではなかったが数字を見て少し安心した。

式典は初の二部制で行われ、前半の「平和の式典」は十三時～延暦寺会館屋内で開催され、各宗教の代表がそれぞれの立場と教義から平和や諸宗教への取り組みについて語った。

後半の「平和の祈り」は場所を移し記念碑前広場で開催された。麦わら帽子はこの後半の広場で配られたのだが二十六度とはいえ日差しが痛いには変わりがない。何か日差しを避けるものはないかと思つていたのとでも有り難かった。

十五時三十分、定刻通り平和の鐘が打ち鳴らされ、鐘に合わせて世界平和への祈りが捧げられた。

鐘の音に合わせて目を閉じた。人それぞれだろうが今年から私の中の夏といえば蝉の声、入道雲、麦わら帽子、ひまわり、そして宗教サミット。昨年より始まったロシアのウクライナ侵攻はついに六百日を超えた。今、夏が過ぎひまわりは枯れたが、ウクライナの希望は消えない。

令和5年度 特集

比叡山宗

第1回連盟オンライン研修会開催



妙法院門跡・杉谷義純大僧正を講師にお迎えしました。



「比叡山宗教サミットの意義と展望」に参加して



滋賀 仏青
会長 勝山 圓海

第一回連盟オンライン研修会として令和五年六月十四日、妙法院門跡杉谷義純大僧正を講師にお迎えし、「比叡山宗教サミットの意義と展望」と題して講演をいただきました。

世界の様々な宗派宗教と対話し、協力して活動する機会となる「比叡山宗教サミット」は、世界平和の実現に向けて大変意義深い行事であることを、再度認識させていただける有意義な研修会でした。

私たちは、情報技術の発達のおかげで、世界各地で起こっている平和を脅かす多様な出来事の情報に対して、簡単にアクセスすることができます。日常的にそのような情報に接していると、起きている事態の表面的な部分だけを受け取り、困難な日常に直面している人たちへ思いを致すことが希薄になっていると感じます。

比叡山宗教サミットの開催意義を鑑みると、天台宗の青年僧侶として、平和ということは今一度見つめ直し、他者に対してどのように向き合っていくべきなのかを、改めて考える貴重な時間となりました。



連盟オンライン研修会レポート

第二回連盟オンライン研修会

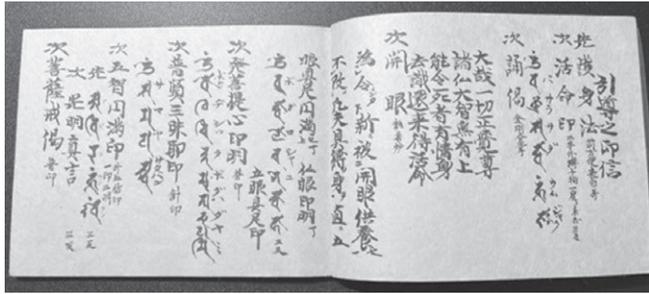
群馬仏青 会長 藤田 祐隼

第二回連盟オンライン研修会に参加して

東海仏青 輪田 友博



令和五年十二月六日、第二回目となる天台仏教青年連盟オンライン研修会が開催されました。群馬天台青年会創立五十周年の記念として発刊いたしました、葬儀式作法集『令和新編無常導師作法』の解説と作法の説明を、研修会にご参加いただきました多くの皆様に恐れながらもお伝えさせていただきました。熱心な姿勢と眼差しの皆様と共に勉学に励む、充実した貴重な機会となりました。今研修を経て学んだことを、一参加者としてこれからも精進してまいりますと存じます。



無常導師作法

今回、葬儀の構成についてのオンライン研修会に参加をして、自坊で葬儀を勤める際の意義を深く学ぶことができました。これまでも師僧や教区内外の研修会で多く教わってききましたが、剃度式から茶毘所行法までの一連の流れを体系的に学ぶ機会に初めて出会いました。

コロナ禍を経て葬儀の形態が大きく変化している中で、通夜・葬儀において、どこに重きを置くべきか、あるいはやむなく省略する場合はどのくらい許されるのかについて知りました。

また、施主から鎖龕起龕や故人の徳を称える歎徳文のいわれについて聞かれることがあります。今回の講義を聞いて自信を持つて応えることができるようになりました。

このような点から、群馬仏青の皆さまが作成された『令和新編無常導師作法』は、協僧やお導師を勤める際に大変有益なお経本であると感じました。これからは今回学んだ意義を踏まえ、実践していきたいと思えます。



<p>空風火水地</p> <p>品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。</p> <p>営業品目 卒塔婆 角塔婆 縁木塔婆 ゴマ札 各種特許あり</p> <p>塔婆製造販売 (株)協和木工所 東京都西多摩郡日の出町平井1316 TEL. 0425-97-0732 FAX. 0425-97-1816</p> 	<p>お香  みのり苑</p> <p>☎ 520 - 0524 滋賀県大津市和邇今宿 384 - 3</p> <p>電話 077 - 594 - 1845 FAX 077 - 594 - 2151</p>	<p>天台宗務庁御特命 三諦章袈裟専織所</p> <p>山寺庄連 本磨務用 総延宗御</p> <p>森忠法衣店</p> <p>五代目 森 忠兵衛</p> <p>〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入 電話 075-231-1203番 FAX 075-255-7020番</p>
--	--	--

第五十八回 天台青少年比叡山の集い

実行委員長 浅野 慈航(南総)

「今年こそは本山開催を！」

昨年度無念の中止を経て、この一心で協議・準備を進めて参りました。本行事に関わり、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

5類移行に伴い緩和の向きにあります。コロナ禍ということもあり、昨年度に引き続き研修生の募集人数を絞り行われました。また例年と同じく大変暑くありましたが、熱中症など研修生の体調面には細心の注意を払い、大きな事故なく研修を終えられたことは幸いでした。



戸惑いと不安もありましたが、研修生からの「楽しかったです」「勉強になりました」という言葉を聞き、大変嬉しく感じました。未来を担う人材を育てるという本行事の意義を常に考え、よりよい研修になるべく今後も研鑽を続けていきたいと思います。

最後になりましたが、研修生の指導・サポートを担当するリーダーを集めることが年々厳しくなっています。安全に行事をするために一人でも多くのリーダーを必要としています。皆様のご参加、リーダー参加へのお声かけのご協力、よろしくお願いたします。

●インフォメーション

令和5年度 天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

- トルコ・シリア支援金 411,200円
 - ハワイ・モロッコ・リビア支援金 610,000円
 - 連盟救援基金 389,238円
- 合計 1,410,438円

【令和5年度 連盟支援団体】

連盟救援基金より下記の3団体に支援金を送付いたします。

- ①PMJパンチャメッタ ②タイ プラティーフ財団
- ③一隅を照らす運動総本部 以上

ご協力いただきました各仏青様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援ご協力を宜しくお願いたします。
(救援委員会)

※上記の募金額は令和6年1月11日現在です。

令和6年度 天台仏教青年連盟全国大会 茨城結集

日程: 令和6年10月7日(月)～8日(火)
会場: 1日目 … 五浦観光ホテル別館大観荘
2日目 … 天心記念五浦美術館

天台宗茨城教区仏教青年会は令和6年7月で創立60周年を迎え、記念事業の1つとして令和6年10月に北茨城市にて2日間の日程で茨城結集の開催を予定しております。

主な内容として1日目はホテル会場内にて記念講演、2日目はホテル近くにありますが天心記念五浦美術館の見学を予定しております。

天台青年僧にとって有意義な結集が開催できるよう、会員一同準備に取り組んでおりますので、宜しくお願いたします。

〈天台宗茨城教区仏教青年会・茨城結集実行委員会〉

法衣・稚児貸衣装・仏具莊嚴品
贈答記念品・授与品



全国共通フリーダイヤル 0120-55-0369

東京店 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目8番8号

東京店直通 FAX番号 0120-447-560

埼玉店 〒345-0047 北葛飾郡杉戸町高野台東1丁目15-7

埼玉店直通 FAX番号 0120-66-5966

ホームページ <http://www.suzukihouten.jp>

お客様との共創で
新しい付加価値をデザインする



福島カラー印刷株式会社



有限会社 むりかみ

〒591-8022

大阪府堺市北区金岡町 3001-1-25

電話 (072) 258-0122

FAX (072) 255-4709

天台仏教青年連盟 協賛金協力者御芳名 (敬称略)

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます



水尾 寂芳 延暦寺執行	竹内 純照 一隅を照らす運動 総本部長	柴田 真成 社会部長	岩田 真亮 教学部長	船戸 俊宏 財務部長	甘井 亮淳 法人部長	小林 祖承 総務部長	阿部 昌宏 宗務総長	天台宗務庁
小池 祖堂 三岐教区 慈明院	野中 玄雄 九州東教区 善正寺	清水 成真 山陰教区 皆成院	葉上 観行 岡山教区 千光寺	澤田 圓成 近畿教区 天鷲寺	松景 崇誓 京都教区 護浄院	竹林 幸祥 延暦寺一山 護心院	宗議会議員 (寺籍簿順)	
大澤 貫秀 埼玉教区 福正寺	細野 舜海 南総教区 観明寺	玉田 法信 北総教区 永命寺	阿 純章 東京教区 圓融寺	大塚 亮英 東京教区 寶泉寺	坂本 圭司 神奈川教区 遍照寺	吉澤 道人 信越教区 光前寺	岩尾 照尚 北陸教区 翠雲寺	
清原 良田 山形教区 中性院	鮎貝 宗城 陸奥教区 観音寺	小笠原 仁海 福島教区 不動院	井上 純道 栃木教区 台元寺	鈴木 常元 栃木教区 實教院	寺門 俊明 茨城教区 如意輪寺	原 徳明 群馬教区 満勝寺	綾小路 乗俊 群馬教区 昌樂寺	
山田 亮盛 東海教区 瀧山寺	嘉瀬 慶文 九州西教区 安福寺	秋吉 文隆 九州東教区 明德寺	中村 満直 山陰教区 座光寺	穴穂 行仁 京都教区 穴太寺	安藏 玄周 滋賀教区 泉福寺	教区宗務所長 (寺籍簿順)	山口 礼雄 北海道管区 天祐寺	
三浦 祐俊 群馬教区 長福寺	杜多 堯慶 埼玉教区 護國寺	河野 亮宏 南総教区 寶勝院	弘海 高顯 北総教区 大乘寺	林 觀照 東京教区 寶塔寺	加藤 浩照 神奈川教区 影向寺	吉澤 敬順 信越教区 長慶寺	光照 良浩 北陸教区 自性院	

令和五年度常任委員会 委員長報告

結集研修委員会

委員長 関口 慈圓(信越)



一担当委員一
本山・京都・東海
信越・群馬・茨城

今年度の結集研修委員会では、当職が所属する信越教区にて「天台仏教青年連盟全国大会 信越結集」が立案、執行され、三度のオンライン研修の企画および実施がされました。

信越結集ではおよそ一六〇名の参加を賜り、みうらじゅん氏の講演、また世界平和祈念法要や善光寺大勧進貫主栢木寛照大僧正のご講話等にご随喜いただきました。現在は来年度開催予定の「茨城結集」に向けて準備を進めております。

三度のオンライン研修でもそれぞれ多くのご参加をいただき会員各位研鑽を深められたものと思えます。なお講師並びに講題は以下の通りです。

妙法院門跡 杉谷義純大僧正「比叡山宗教サミットの意義と展望」
群馬天台青年会会長 藤田祐準師
「葬儀の構成について」 無常導師
作法の解説」

善光寺浄土宗 山白蓮坊住職 若麻 績敏隆師「極楽とは何か」イメー
ジからとらえなおす極楽の深層」

救援委員会

委員長 中里 正敬(北総)



一担当委員一
近畿・兵庫・九州西
北総・南総・栃木・福島

救援委員会では地球救援募金活動、各種支援団体への支援実施、災害発生時の情報収集、被災地への救援物資や支援金義援金の送付、各教区仏青への募金協力依頼等を基本とし活動しております。

本年度はトルコ・シリア地震被災地への救援募金の呼びかけ、能登半島地震災害と台風二号災害への義援金の拠出、台風十三号災害への義援金の拠出とボランティア活動への助成案内、ハワイでの山火事・モロッコでの地震・リビアでの洪水など海外で多発した災害への救援募金を呼びかけ、国内外の災害への救援活動を実施いたしました。同時に各種支援団体の選定も行っております。

被災地支援活動に多大なるご協力をいただきました各教区仏青の皆様へ感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

情報通信委員会

委員長 清原 要田(山形)



一担当委員一
山陰・三岐・東京
陸奥・山形・北海道

情報通信委員会では主に天台仏青連盟公式のSNSやホームページの管理運営を行っており、会報誌の掲載や連盟主催行事の記事などを作成し発信しております。昨年度まではコロナ禍の影響を受け、掲載記事も少なくなっておりますが、本年度より、ほぼ全ての行事記事を掲載することが出来ました。

委員会内で継続的に検討している新旧ホームページの統合と移行ですが、委員の皆様のご協力もあり順調に進めば来年度中には結果をご報告できると思えます。

現在、SNSやホームページに掲載される記事は連盟主催行事を中心にしていますが、各教区仏青の皆様様の活動も最寄りの情報通信委員や連盟役員の皆様にご連絡いただければ掲載しております。

今後とも当委員会の情報発信をシェアしていただき、仏青活動のご報告、ご協力いただければ幸いです。

布教広報委員会

委員長 龍 信明(岡山)



一担当委員一
滋賀・岡山・四国・九州東
北陸・神奈川・埼玉

布教広報委員会の活動といたしまして、本誌「天台仏青連盟」の編集と発行を行っております。今年度は代議員改選と新連盟役員就任の年となりましたので、まず六月に新体制をご案内する臨時号の編集と発行を行いました。

また、五月に新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴い、徐々に各仏青の行事も活発に催されるようになりました。連盟においても比叡山宗教サミットへの参加や信越結集の開催など、制限のないコロナ禍以前のような状態で交流できる機会に恵まれました。

改めて、顔を合わせながら親睦を深める機会の有難さを実感することができましたので、主催者の方の思いや、参加者の方の感想などを誌面に反映できるように心がけております。

誌面の編集にあたり、関係者の皆様には原稿執筆等のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今後、より各仏青の活発な活動がご紹介できるように努めて参りますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

編集後記

この度の連盟会報誌の発行にあたり、ご協力いただきました皆様、誠に有難うございます。様々な意見を交わしながら無事に発行をむかえる事ができました。

先日、ラグビーワールドカップをテレビで観ました。ラグビーに関しては全くの素人ですが、日本代表の試合を観て、とても感動しました。各々がチームとして自分のポジション、役割をしっかりと果たしていたからです。

ベタですが、私はラグビー用語として「One for All, All for One」という言葉が好きです。有名なので知っている人も多いかもしれませんが、言葉の意味は、色々と解釈されますが、本来は、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」です。

私たちメンバー一人一人が目標を共有して、自分自身の役割をしっかりと理解し、状況に応じた的確なコミュニケーションを図りながら、これからも一丸となって一隅を照らしていきたいです。

布教広報委員

原田 真人(神奈川)